

## シンポジウム：「デイヴィッド・シュリグリーとのトーク、加賀美健を迎えて」

日時：2017年10月31日(火) 18:00-20:00 (開場 17:30)

会場：東京藝術大学上野校地 中央棟第一講義室 (住所：〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8)

登壇者：デイヴィッド・シュリグリー、加賀美健

聞き手：三輪健仁(東京国立近代美術館主任研究員)

主催：ユミコチバアソシエイツ <http://www.ycassociates.co.jp/>

協力：公益財団法人水戸市芸術振興財団、東京藝術大学美術学部附属写真センター、  
Stephen Friedman Gallery

企画協力：MISAKO & ROSEN

※日本語通訳あり ※定員 180 名 (予約不要・無料・先着順)

### 「デイヴィッド・シュリグリーとのトーク、加賀美健を迎えて」

親指と中指、「笑いのツボ」を押すのはどっちだ？

イギリスを代表するアーティストの一人デイヴィッド・シュリグリーの来日にあわせ、ゲストにアーティストの加賀美健を迎えたトークイベントを開催します。

シュリグリーと加賀美、どちらの表現にも共通するのはすぐれた「笑ひ」のセンスです。そして、独特の(ひねくれた?)立ち位置から世界を眺めることで生まれるその笑いには、いつもある種の「批評」が含まれています。

二人には、アメリカのインディーズロックバンド「Deerhoof」のジャケットデザインをともに手がけているという共通項もあります。また、Tシャツのデザインにおいても素晴らしい仕事をしています(シュリグリーはユニクロなど、加賀美は自身のブランド(C)や、人気ブランド YAECA、BEAMS、ユナイテッドアローズなど)。さらにブックデザインに対する二人の並々ならぬこだわりも見逃せません。

彼らの表現は、尖がっています。尖がったセンスというのは、しばしば多くの人たちには受け入れられにくいものです。しかし二人はともに、美術館やギャラリーといった美術界での注目と同時に、マス・カルチャーのなかで、そのクリティカルな視点を決して失うことなく、成功を収めている稀有な存在です。そこにはきっと、ジャンルやメディアを軽快に、飄々と横断していくためのテクニックがあるはず。いったいアーティストとは、トレンドを作るのか？トレンドを読むのか？それともトレンドに乗るのか？

アート、ファッション、音楽、本…、縦横無尽に話題が展開されること必至の2時間です。東京でのトーク開催は1度だけ、どうぞお見逃しなく。

2017年10月 三輪健仁

### ■登壇者プロフィール

#### デイヴィッド・シュリグリー

1968年にイングランド北部のマックスフィールドに生まれ、スコットランドで唯一の公立美術大学であるグラスゴー・スクール・オブ・アートを卒業し、現在はロンドンを中心に活動しています。2012年にはロンドン、ヘイワードギャラリーにてキャリア半ばでの回顧展「Brain Activity」を果たし、この展覧会を受け2013年度には英国在住作家に贈られる名高いターナー賞にノミネートされるなど、ポスト YBAs(ヤング・ブリティッシュ・アーティスト)世代の代表的なアーティストの一人です。シュリグリーは、インスタレーションから絵画、彫刻、写真、映画、書籍、音楽と、様々なスタイルで作品を展開していますが、とりわけ日常生活のありふれた光景を機知に富んだ切り口で描いたドローイングと、写真、アニメーションはよく知られており、それらの作品には、駄じゃれ、ダブル・ミーニング、皮肉、厭世観など英国らしいユーモアのセンスがふんだんに盛り込まれています。

#### 加賀美健(かがみ けん)

1974年東京生まれ。現在も東京を拠点に制作活動を行う。主な展覧会に、2016年「さよならジュピター」356 ミッション、ロサンゼルス(グループ展)、2015年「comédie concrète」MISAKO & ROSEN、東京(グループ展)、「Green」(企画:パピーズ・パピー)ホワット・パイプライン、デトロイト(グループ展)、2014年「ブロンズ・ワークス 2013 - 2014」MISAKO & ROSEN、東京(個展)、2013年「19516 kilometers from Milwaukee or 12126 miles」MISAKO & ROSEN、東京(グループ展)、「THE FUTURE IS STUPID 加賀美健・スコット・リーダー」グリーン・ギャラリー、ミルウォーキー(グループ展)「アートがあれば 2」東京オペラシティアートギャラリー、東京(グループ展)、2006年「HOLLOWIEN」クリンジンガープロジェクト、ウィーン(個展)がある。

加賀美は、日常で起こる出来事をジョーク的発想に変えて美術作品として発表してきました。これまでに、毎日の生活の中で当然のようにありふれた素材を使い、加賀美が日常から見つけてきた時事的な話題を組み合わせた彫刻を制作しています。作品に使われているほとんどの素材は、アメリカのどの街



にもあるスリフトストアや東京の街角に良くあるリサイクルショップで見つけたアイテムです。使われなくなった物を取り扱うスリフトストアやリサイクルショップは、消費のせつない部分の象徴でありながら、加賀美健の作品を通してみると楽観的でポジティブなアイデアへと変容していきます。また近作は、美術の歴史の中で多く用いられてきた作品の素材をわざと使い、ごみや作品とならないはずのモチーフを無理矢理ブロンズ作品にしたシリーズなど美術史に言及したシリーズを多く手がけています。

ラジオ風番組「Ken Kagami のオールナイトすっぽんぽん」配信中 MISAKO & ROSEN Entertainment

<http://www.misakoandrosen.jp/entertainment/allnight/index.html>

## ■聞き手プロフィール

### 三輪 健仁(みわ けんじん)

東京国立近代美術館主任研究員、立教大学非常勤講師。主な企画(共同キュレーション含む)に「Re: play 1972/2015—『映像表現 '72』展、再演」(2015年)、「14 のタベ」(2012年)、「パウル・クレー展—おわらないアトリエ」(2011年)、「ビデオを待ちながら—映像、60年代から今日へ」(2009年)など(いずれも東京国立近代美術館)。最近の執筆に「ノンサイト—デス・ヴァレー」『ロバート・スミソンの作品—覧 | 「プラスチック展」(1965年)から「ノンサイト展」(1969年)まで』(東京国立近代美術館、2017年)、「『アンチ・イリュージョン: 手続き/素材』展における『映像』と『彫刻』の交差」『ニューヨーク—錯乱する都市の夢と現実(西洋近代の都市と芸術 7)』(竹林舎、2017年)など。

## \* 関連情報 \*

### ■デイヴィッド・シュリグリー「ルーズ・ユア・マインド —— ようこそダークなせかいへ」

会期: 2017年10月14日(土) - 2018年1月21日(日)

開館時間: 9:30 - 18:00 (入場時間は17:30まで)

会場: 水戸芸術館現代美術ギャラリー

休館日: 月曜日、年末年始 (2017年12月27日(水) - 2018年1月3日(水)、1月9日(火))

\*ただし2018年1月8日(月・祝)は開館

入場料: 一般800円、団体(20名以上)600円 中学生以下、65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料

※一年間有効フリーパス:「ハイティーンパス H.T.P.」1,000円/対象 15歳以上 20歳未満「おとなのパス」2,500円/対象 20歳以上

主催: 公益財団法人水戸市芸術振興財団 特別協力: プリティッシュ・カウンシル 助成: グレイトブリテン・ササカワ財団

協力: アサヒグループホールディングス株式会社、YUMIKO CHIBA ASSOCIATES

企画: 竹久侑(水戸芸術館現代美術センター)、カトリーナ・シュワルツ、クレア・フィーリー(ともにプリティッシュ・カウンシル)

## ■NEW DRAWINGS - DAVID SHRIGLEY

会期: 2017年11月2日(木) - 12月22日(金)

会場: Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku (〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿 #206)

営業時間: 12:00-19:00 定休日: 日、月、祝日

オープニングレセプション: 11月2日(木・祝前日) 17:00 - 19:00

会場: Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

後援: プリティッシュ・カウンシル

協力: 公益財団法人水戸市芸術振興財団、東京藝術大学美術学部附属写真センター、Stephen Friedman Gallery

\* また、「NEW DRAWINGS - DAVID SHRIGLEY」個展開催に合わせ、研究冊子を刊行致します。

『David Shrigley: Really Good』

執筆: 三輪健仁(東京国立近代美術館 主任研究員)

ブックデザイン: 小沼宏之

発売日: 2017年11月2日(木) 仕様: A5判、32頁、和英バイリンガル、モノクロ仕様

発行元: ユミコチバアソシエイツ 協力: Stephen Friedman Gallery

定価: 1,000円(税別) ISBN978-4-908338-09-0 C0070 1000E

## ■グッズ販売

本展開催に際し、ワーカホリックス株式会社/ラムフロムより、オリジナルグッズが販売されます。

詳細は下記までお問い合わせ下さい。

Email: [info@lammfromm.biz](mailto:info@lammfromm.biz) 電話番号: 03-5722-6901(担当: 椎名)

## 【本企画に関するお問合せ】

ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。尚、御質問および画像データの御依頼は下記までご連絡下さい。

ユミコチバアソシエイツ 担当: 宮中

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#316 Tel: 03-6276-6731 e-mail: [info@ycassociates.co.jp](mailto:info@ycassociates.co.jp)

website: [www.ycassociates.co.jp](http://www.ycassociates.co.jp) 営業時間: 12:00-19:00 定休日: 日・月・祝日